

ポーランド国立民族合唱舞踊団『シロンスク』 ポロネーズのワークショップを開催♪

日 時：11月22日 水曜日

場 所：加納高校 芸術棟 第1演奏室

ポーランド国立民族合唱舞踊団「シロンスク」の皆さんとワークショップを行いました。なかでもポーランドの伝統舞踊であるポロネーズの手ほどきを受け、音楽科の生徒33名でポロネーズの演目を完成させました。

音楽科の生徒たちが演奏することの多いポロネーズ。ショパンの作品で知られているポロネーズですが、ポーランドの方たちから直接おしえていただくことで、ポロネーズの音楽を肌で感じることができました。



(↑ポーランド国立民族合唱舞踊団のみなさんと音楽科の生徒たち)



ダンサーである2人の先生を中心に、まずはポロネーズのステップを学びました。ステップの一步目は、膝を柔らかくまげること、つま先や足の裏を滑らせることを意識しました。



ポロネーズは貴族の踊りであること、自分を美しく見せる意識を持つこと、姿勢や目線についてなど、細かく丁寧に指導していただきました。

また、先生のダンスや仕草の美しさに圧倒されるとともに、生徒たちもポロネーズの習得にますます意欲がわきました。



最後には、4人ごとの縦列隊形から、ポロネーズのステップを踏みながら前進し、2重の円になる演目を完成させました。ステップを踏みながら、踊りの列や輪をくずさないよう取り組みました。

ポロネーズをピアノで演奏することはありますが、今回は身体を動かして踊ることでポロネーズを肌で感じることができました。特に、ステップの一步目の踏み込みの感じ方は演奏する時の強拍の感じ方に生かしていけると思います。また、普段はリズムの特徴を意識して演奏していましたが、‘ポロネーズは貴族の踊り’ということ意識してダンスしたことで、実際に貴族が踊っているイメージをもって演奏でも意識してみようと思いました。他のポーランドの伝統舞踊も学んでみたいです。

(生徒の感想より)

～『シロンスク』のみなさま 貴重な経験をありがとうございました～

